

ロジックモデル(周産期医療)に関する論点

1 目指す姿（分野アウトカム）について

- 適切な周産期医療により妊産婦が安心・安全な妊娠・出産が
できている
 - ・ 長野県が目指す、あるべき県民・患者の状態として適切か

- 指標
 - ・ 記載内容を評価する指標として適切か

2 中間成果（中間アウトカム）について

○区分

- ・ 県 7 次医療計画及び国の示す 8 次医療計画の指標例を参考に 5 つの区分で構成
- ・ 区分の分け方、記載内容は適切か

○ 記載内容

- ・ 目指す姿（分野アウトカム）に繋がる、「県民・患者の状態」「医療サービスの状態」として適切か

区分① 正常分娩（リスクの低い帝王切開術を含む）

身近な地域で妊娠・出産に向けた健康管理ができている

正常分娩やリスクの低い帝王切開術が受けられている

妊娠・出産への不安に対する相談が受けられている

区分② 地域周産期医療

区分③ 総合周産期医療

- ・リスクのある妊産婦が、適切な医療を受けられている
- ・24時間体制で周産期救急医療（緊急帝王切開術、その他の緊急手術を含む。）に対応できている
- ・周産期医療体制の中核病院が地域の周産期医療関連施設等と連携が図れている

区分④ 療養・療育

- ・新生児の先天性疾患等が早期発見され、早期療育が受けられている
- ・ハイリスク児・妊産婦が退院後の生活について支援を受けられている

区分⑤ 有事の周産期医療

- ・有事（災害時、新興感染症の発生・まん延時）を見据えた周産期医療体制ができている

○ 指標

- ・記載内容を評価する指標として適切か
- ・区分①「正常分娩（リスクの低い帝王切開術を含む）」の指標として国の重点指標に位置付けられている「分娩数」を用いることが適切か
- ・区分②「地域周産期医療」及び区分③「総合周産期医療」の中の「6 周産期医療体制の中核病院が地域の周産期医療関連施設等と連携が図れている」ことを表す指標として「地域連携クリティカルパスを作成している周産期医療機関数」を用いることが適切か

- ・ 区分④「療養・療育支援」の中の「8 ハイリスク児・妊産婦が退院後の生活について支援を受けられている」ことを表す指標をどのように定めていくか。

3 施策（アウトプット）について

○ 周産期医療の提供体制についての方向性

- ・ 国の医療計画作成指針の「目指すべき方向」に追記されたハイリスク児・妊産婦への支援について、次期計画において重点的に取り組むべき施策があるか
- ・ 第1回WGでご意見のあった産後の母子支援について重点的に取り組むべき施策があるか